

平成 18 年 3 月期 第 1 四半期決算のポイント

1. 実績について

(単位：億円)

	連結			単体		
	実績	前期比	前期差	実績	前期比	前期差
売上高	1,762	118.4%	273	1,023	100.2%	2
営業利益	82	180.8%	37	50	181.1%	22
経常利益	87	165.7%	34	58	150.2%	19
四半期純利益	51	170.2%	21	34	150.3%	11

<連結概況>...平成 16 年 3 月期の四半期決算開示以後、売上高、各利益で過去最高を更新

- 売上高...前期から 273 億円の増収(うち岩田屋分 250 億円増)
伊勢丹単体は 2 億円増収しました。店舗別では浦和店、相模原店の 2 店舗を除いた 5 店舗が前年を上回りました。
海外百貨店子会社 15 億円、ハニーズジャパンが新店効果で 11 億円増収しました。
- 営業利益...前期から 37 億円の増益(うち岩田屋分 4 億円増)
売上高が増加し、売上総利益率も 0.93%向上したため、売上総利益は 95 億円増となりました。なお、伊勢丹単体の売上総利益率も 0.62%向上しました。
販管費は、岩田屋が 66 億円増加、ハニーズジャパンが 3 億円増加しましたが、伊勢丹単体で人件費を中心に 12 億円削減し、連結合計で 58 億円増に抑えました。
- 経常利益...前期から 34 億円の増益(うち岩田屋分 2 億円増)
連結子会社化により岩田屋の持分法利益が前期より 2.2 億円減少し、営業外収支は 2.5 億円前年に比べ悪化しました。
- 四半期純利益...前期から 21 億円の増益(うち岩田屋分 1 億円増)

2. 業績予想について

(単位：億円)

	連結				単体			
	中間期		通期		中間期		通期	
	今回予想	前回差	今回予想	前回差	今回予想	前回差	今回予想	前回差
売上高	3,510	30	7,350	0	2,040	30	4,300	0
営業利益	97	4	250	0	60	4	165	0
経常利益	99	5	260	0	70	5	180	0
中間(当期)純利益	52	2	150	0	40	2	110	0

<業績予想>...連結、単体とも中間期は上方修正、通期は変更なし

- 単体
中間期：第 1 四半期が順調に推移し、7 月もセール好調により売上高が予想を上回る見込であるため、売上高、各利益とも前回予想から上方修正を行います。
通期：前回発表から修正は行っておりません。
- 連結
中間期：第 1 四半期において、子会社はほぼ予想どおり推移したため、単体修正分と同額を上方修正します。
通期：前回発表から修正は行っておりません。